



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立 1964年3月2日 ■例会日 毎・金曜日 12時30分 ■例会場 オークラ千葉ホテル
■会長 酒井 秀大 ■幹事 山本 康永 ■会報委員長 岡田 敦志
■事務局 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2024-25年度

第2892回

2025年5月16日(金) 点鐘:12:30 (曇り)

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

本日はいらっやいませんでした。

◆会長挨拶 酒井 秀大会長

《臨時・理事委員長会議報告》



年会費及び特別会費について話し合いがありました。

◆国際ロータリーより認証品伝達

《第4回ポールハリスフェロー寄付》 松尾 博之会員



◆出席報告(会員数57名)

出席者数	欠席者数	ビジター	5/2 修正出席率
34名	23名	0名	休会のため次回にて

◆ニコニコボックス報告

●酒井秀大会長・山本康永幹事

鮮やかなバラが華やかに咲き誇る季節となりました。
5月は、なにかと体調を崩しやすい頃、春から夏へ、季節の変わり目です。皆様におかれましては、健康にはくれぐれもご留意ください。

因みに千葉銀行本店前の広場のバラも見応えがありました・・・。

●國友 英治会員

入会して二年近く経ちました。多くの方々にご来院いただき、有難うございます。これからも千葉南クラブの健康を全力で死守いたします。

次年度の委員長も頑張ります。

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	584,003 円
-------------	---------	----	-----------

本日の卓話

演題・・・『人の為に生きていく幸せ(奉仕の心)
奉仕は人の為ではあるが、
自身の幸せのためでもある』

卓話者・・・佐藤 達志会員

そもそも生きる意味と幸せを考えるのは人間だけはいか。動物は生きるために食べ、種を繁栄させるために繁殖している。なのに人間は勝手に生きる意味まで考えて、くよくよしたり落ち込んだり、怒ったり、威張ったり、不思議なものです。

辞書によると幸せとは、



【満ち足りていて不満がなく、望ましい状態のことをいいます。もう少し詳しくいえば、「恵まれた状態にあって不平を感じない」「満足できて楽しい」ありさまが、幸せです。物質的にも精神的にも満たされている状態など】と、記されています

ただし、人間は欲望の塊なので自分の境遇を不満に思い、人を羨んだり、物質的なものを求める欲求はあくなきものがあるのです。その自分中心な考え方にとらわれて幸せを実感出来ていない人も多いのではないのでしょうか

「しあわせは
いつもじぶんのこころがきめる」
あいだみつお

幸せは自分の気の持ち様で決まるだけ

いろんな境遇はあれど、比較はいけないが自分より大変な境遇にある人は沢山いる。自然に生かされている事に感謝して、「お蔭さま」という気持ちで謙虚に生活していく事が幸せではないのでしょうか。太陽がなければ、自然がなければ生きていく事すら出来ない。

自分は恵まれてるなあと思えば大体しあわせだなあと思えるはずです。

テレビとかでお天道様に感謝しているおばあ様の姿が目につく……。長年生きてきた末にたどり着いた境地ではないのでしょうか。まずそれが自分のしあわせ。

自分のことより10倍うれしい幸せ

自分が何か成功した時よりも、自分の子供が初めてしゃべったり歩いたり、何かができるようになったりすることは10倍うれしい。熱をだした子どもが熱が下がって元気になってホッとする。子供の成長と幸せを心から願っている親心ではないか。

子供のためならば、自己犠牲もいとはない。なんでもやってあげたいと思う。
(お願いされなくてもやる、やらせて欲しいと思うはず)

父母の心をもって人類を愛す

自身の子どもに対するような気持ちで広く社会や人々の幸せを願うことが出来れば社会がもっとより良い世界になり、自身ももっと幸せでいられるのではないか、人のために働けるひとはきっと美しい。

自分だけのしあわせは意外とちっぽけ

奉仕とは、何かをやってあげたいという気持ちではなくて、やらせて頂きたいと思っで行うものではないでしょうか。人生は自分磨きで、人の幸せが自分の幸せと思えるのならば、10 倍以上の幸せが自身に訪れるのではないかと思います。

迷惑をかけぬ事より役立つことを

元来、人間は人に世話をしてもらったり、与えてもらったり迷惑をかけながら生きている、であるならばそんなことを気にするよりは、勇気を持って人のお役に立つ事を実践していくほうがずっといいのではないかと思います。

奉仕というものは

自分の子どもや家族を思う様な親心で他社の幸せのために奉仕を実践していく事で、他者のためだけではなくその副産物として自分に幸せが返ってくるという事なのではないのでしょうか。

